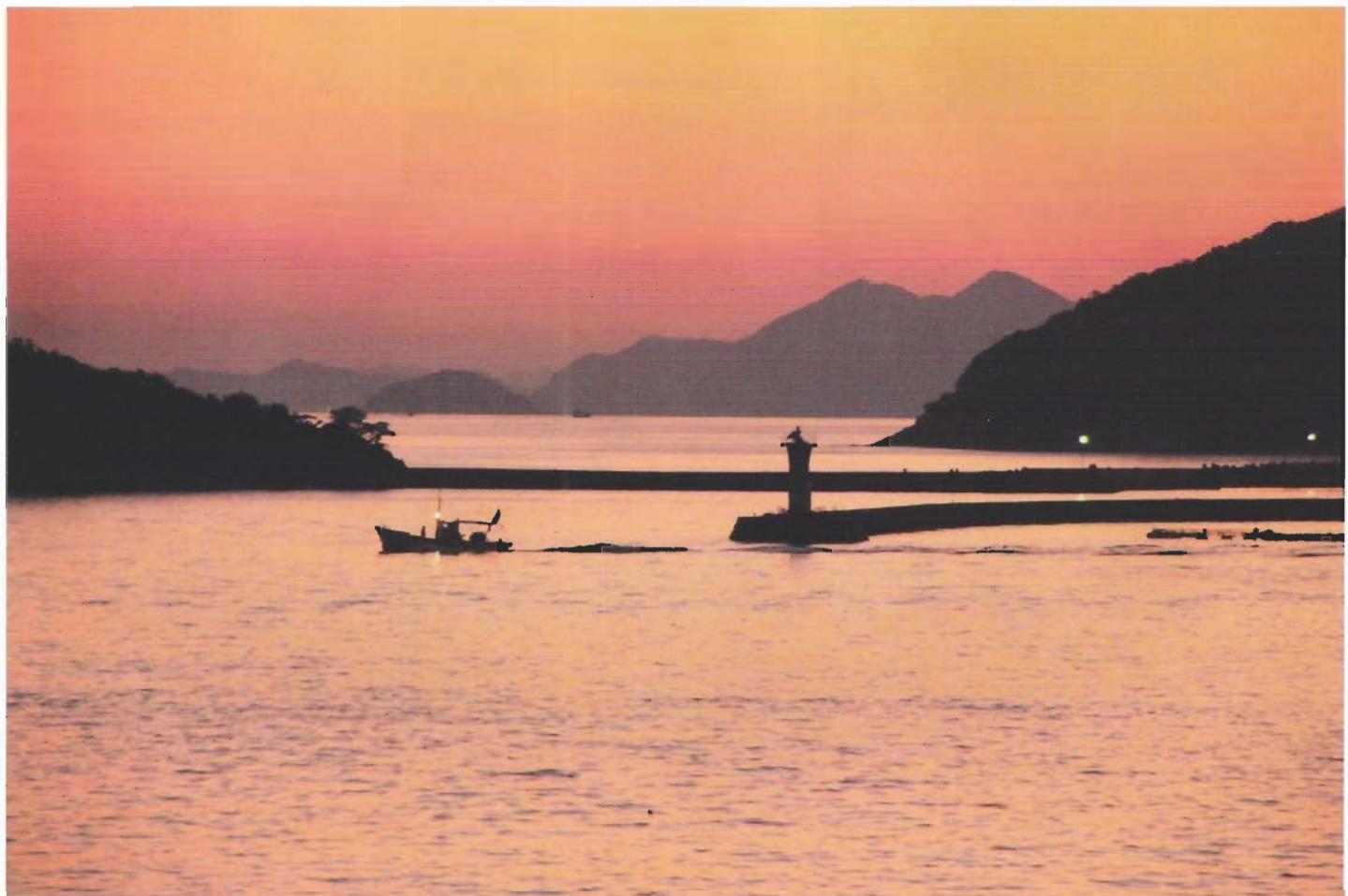


し ん

か ん

# 真 観



## 理念

- 一、佼成病院は、立正佼成会の社会事業の一環として存在する。
- 一、佼成病院は、地域住民の健康な生活を支える中心的な役割を果たす。
- 一、佼成病院は、医療の使命に情熱を燃やす職員で構成する。

## 目次:

1. 佼成病院創立59周年記念式典
3. 自分を信じる
5. 活気のある職場を目指して
6. 新入職医師紹介
7. 診療科紹介
9. やわらぎツアーア
14. 備えていますか - 防災備品チェック表 -
15. 医療連携講演会
17. サンベノ（こんにちは）
19. わかばサークルの今
21. 外来診療表

## 庭野日鑑会長のご臨席を賜る

# 佼成病院創立59周年記念式典

佼成病院は現在の中野区弥生町に昭和27年8月10日に創立しました。そして今年で59年目を迎えました。数え年ですと丁度60歳の還暦にあたります。8月9日には創立記念式典が挙行されました。

第1部では立正佼成会大聖堂において、渡辺理事長を導師に読経供養をさせて頂きました。ひきつづき、庭野会長よりご法話を賜り、昨年10月、奈良、東大寺で行われた「光明皇后千二百五十年御遠忌法要」に参列したことに触れ、仏教への帰依の篤い光明皇后によって病者を救済する施薬院が開設された歴史を紹介。その上で、施薬院の目的、さらに現代の病院の社会的役割を認識する



庭野 日鑑 会長

大切さを強調されました。また、佼成病院は仏教精神に基づく教団附属の病院であると述べられました。新病院の開設に向けて「仏さまの精神を生かしてお互いに精進させて頂きたい」と述べられました。



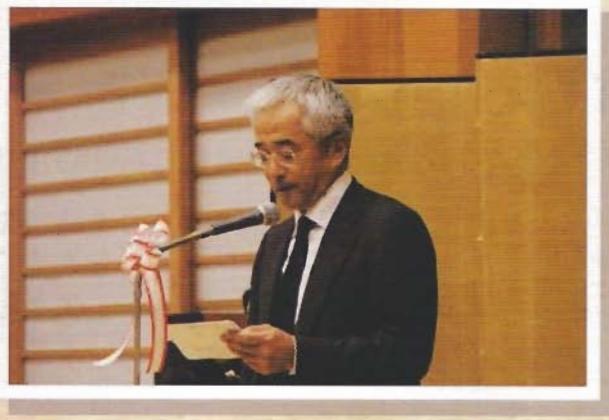
大聖堂

## 院長交代式

第2部では法輪閣に場所を移し、東日本大震災の影響により延期となっていました。院長交代式、同職員の永年勤続者表彰、ボランティアの表彰、続いて懇親会などが執り行われました。式典では佼成病院はじめ教団役職者ら合わせて約350人が参加。大盛況がありました。教団施設には、ほとんど入ったこともない職員が大勢おりましたが、大聖堂の莊厳な儀式に参加し、また会長にもご列席賜り感激もひとしおでした。



渡邊 恭位 理事長



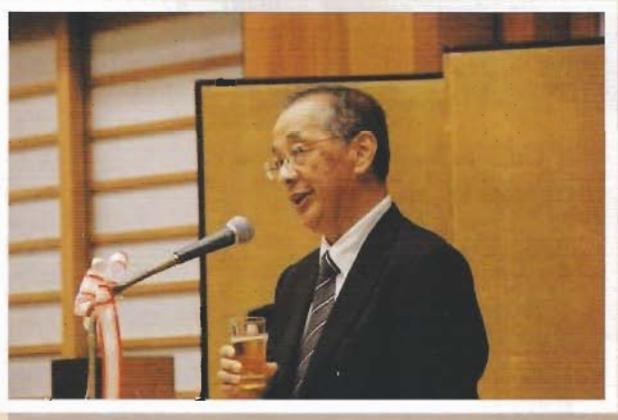
神保 好夫 院長



林茂一郎 名譽院長



表彰式



川端 健之 総務局長による乾杯のご発声



お子様も参加しました。



木村副院長の締めの挨拶

# 「自分を信じる」

院長 神保 好夫



巷には数多くの活字が溢れています。その中で、「自分を信じて・・しなさい、自分を信じて・・することが大切です」と書かれている本を沢山目にします。私はこのフレーズを読むとき、「みんなよく自分が信じられるな」と感心しています。それともそのような文章を書く人が、世間一般の人ではなく、ちょっと特別で自分を信じることができる人なのかな?とも考えています。

そんなに皆自信があるのでしょうか?皆が勝手に自分を信じ物事を行っていたら、協調性がとれなくなり、組織としては成り立たなくなると思うのですが。極端なことを言うと、ヒットラーは自分を信じたのでしょうか?

歴史上の偉大なる人は、歴史が証明することになるのでしょうか?これはなかなか難しい言葉です。そこまで偉人でなくても、世間には自分を信じることで、うまく行った人がどの程度の割合なのでしょうか。常に疑問に思っているところです。もっとも、自分をまったく信じないには、それはそれで、まずいと思いますが。

さて、少々話は飛びますが、私は今まで多くの手術を行ってきました。まだ行っていますが33年間でおそらく1万5千件以上は執刀してきたと思います。今から翻って見ると、その時その時の自分の考え方、物事のとらえ方などがずいぶんと違うように、その時点でどのようなことを考え手術を行ってきたかが、走馬灯のように駆け巡ります。最初は何だかわからずの手術。次には自分が何でもできるように勘違いし、その後は自分以上にうまく手術をする人はいないだろうと思い、また自信喪失になり、そうですね55歳頃には患者さんを診ると術後の結果が手に取るようにわかるまでになりました。しかし、数年前からまた考えが変わり、どうなったかというと、初心にかえって患者さんを診て、手術方法も考えて行うべきであるとの結論に達しました。



これを「自分を信じる」という言葉と重ね合わせてみるとどうでしょうか。自分を信じることができることは、本当に幸せかもしれません、そこまで行くには自己研鑽、周りの意見をよく聞くなどが十分になされないと、独裁になってしまいます。過去を翻って見ると、本当に自分で手術ができたのはほんの数年前からかも知れません。そのようなことを言うと、それ以前に手術をした人に申し訳ないのですが、仕方ありません。もっとも手術は成功していますので、問題はないと思います。単に自分の精神的なもの

です。そんなに自分を信じろと言っても、はつきり言ってわからないと思いますし、それよりもむしろ、自分の考えはある程度決めておいて、それを周囲とバランスを取りながら自己決定していく方がいいと考えています。とてもじゃないが、自分を信じることなど、そう簡単なことではありません。たとえば手術ではようやく最近自分を信じた手術ができるようになりましたが、常に「本当にこれでいいのかな? これ以外に何かもっといい方法がないのかな」と自問しつつ、でも自分を信じてメスを入れています。

さて、話は飛びますが、私は本年4月から院長として仕事をしています。

多くの分野の事を、その場で決めなければならないことは日常茶飯事にあります。なかなか決められないことも多いのですが、それこそこれは自分を信じないとやっていけません。

特にこれから新病院に向けて医師を含め優秀な人材を数多く招聘する必要があります。また、病院の設計変更もあるでしょうし、多くの部門からの不平不満にも対処しなければなりません。病院の機能範囲の決定、高価な医療機器の選定など「自分を信じないと」できないことがたくさんあります。

もちろん、自分一人で決めるこではありませんが、自分を信

じて「こうしよう」「これにしよう」などの決定をせざるを得ません。多くの人の意見を聞く、本を読んで勉強をしても最後は自分を信じるしかないでしょう。これはまた、リーダーシップ力にもなるのでしょうかけど、手術で培ってきた決定力などの肥しがどこまで発揮できるか楽しみでもあります。

「自分を信じる」非常にいい言葉ですが、難しい言葉もあります。皆さんも自分を信じることができるためにには若いうちから、多くの本を読み、協調性を持って仕事に励んでください。

## お詫び

この度、当院において検査薬剤の濃度誤りによる医療事故が発生致しました。今回の事故は全面的に当院に責任があります。

平素より当院をご利用の皆さんに、ご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当院は、今回の医療事故を重く受け止め、職員一丸となって、さらに安心と安全の医療に取り組み、信頼回復に努めてまいりますことをお誓い申し上げます

病院長



# 活気のある職場を目指して

診療部長 秋丸 琥甫



10月1日付で各診療科を統括する診療部長に就任しました。私は診療部長として以下の4項目の成就に努めます。

## 1. 職員の仕事への姿勢

楽しく働ければ最高です。しかし、責任を負うところが非常に大きい医療行為は緊張感なくして楽しいばかりでは皆が幸せにはなりません。数ある病院の中では佼成病院は職員一丸となって医療に取り組んでいると思います。病院職員が纏まるのに必要な事は、職種を超えて、患者さんのためという一点に向かって職員全員のベクトルを一致させることです。特に患者さんと顔を合わせ、会話をする職員は患者さんと家族のために良く説明し理解を得て納得していただき我々と一緒に歩む。そういう機会のない職員でも仮頂面は御免です。患者さんには笑顔を持って接し穏やかに気を配り、便宜も図らいながら家族にも優しく接する。廊下をすれ違う職員は患者さんや家族に見られて評価を受けています。職員間のコミュニケーションの基本は挨拶です。院内に今以上に素晴らしい雰囲気を作りましょう。

## 2. 科の垣根を取り払う

患者さんが“何処で誰に診て貰ったら良いのだろうか”の問い合わせには、どの職員でも優しく応えられるようにしたいものです。患者さんの情報がより早く良く伝わるように、風通しを良くすべく各科の垣根も低くすべきです。各科内のチームワークのみならず医局内全体のチームワークも必要です。ディスカッションと呑ミニケイションと笑いは大いに結構。

## 3. 専門医の集団ではない

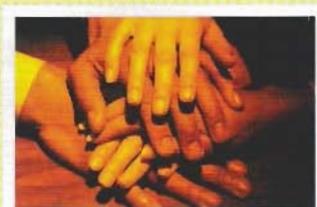
専門医を多く揃えている大学病院は多人数が安い給料で働いて成り立っており、町の病院とは違います。この病院に全ての分野に専門医をそろえる事はできません。もし揃えたら人件費はいくらあっても足りないし、専門分野以外に働くなくなるでしょう。益々、横の関係は無くなるか薄くなって敷居が高くなります。東京の町の病院である佼成病院は専門分野の力も揃えるが同時に診療所の役割もしなくてはなりません。すなわち、専門医を大いに活用はするが、一方では一般内科や一般外科の仕事も求められる。この規模の病院は小回りが利いて親切にして最良の医療を提供出来ると確信します。

## 4. 評判の病院を目指す

この地域住民と開業の先生から“佼成病院に行くと何時でも嫌な顔せずに親切に診てくれて、職員は明るくて誠実な人達ばかりだ。”という評判の病院にすることが強く望まれます。そして、腕も良いよ、などと言われたら嬉しいですね。

普段からオフには身体を鍛え、学び、趣味にも興じ、呑んで、呑めなければケーキで笑い、良く眠り、患者さんのために英気を養っておきましょう。我々職員も市民同様に、病気や怪我を乗り越え、或いは抱えながら、さらには家族や友人の悩みも多かれ少なかれ背負って働いています。それでも病院職員は、健やかな心身の維持に努めながら、他人に優しくしなければなりません。私も努めます。

皆さまのご理解とご支援をお願いします。



# 新入職医師紹介



泌尿器科 富田 雅之 医長  
平成23年7月1日入職  
①平成2年 東京慈恵会医科大学  
②泌尿器科一般  
③日本泌尿器科学会 専門医  
同 指導医  
④月並みですががんばります。



外科 勝野 晓 医長  
平成23年7月1日入職  
①平成11年 杏林大学  
②消化器外科  
③日本外科学会 認定医 専門医  
日本消化器病学会 専門医  
④一生懸命がんばるつもりです。  
よろしくお願ひします。



循環器内科 下山 祐人 医師  
平成23年8月1日入職  
①平成16年 東京医科大学  
②日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
③外来は火・土 禁煙外来・  
睡眠時無呼吸症候群  
④どなたでもかかりやすい地域  
の循環器医として診療所の先生  
と連携して診療させて頂きます。



小児救急科 服部 圭太 部長  
平成23年9月1日入職  
①平成11年 公立札幌医科大学  
②小児救急医療・小児アレルギー  
小児総合診療  
③日本小児救急医学学会評議員  
臨床研修指導医・AHA PALS Provider  
④大学とは違う、当院のマパワー・  
立地を考えた地域小児救急医療  
システムの構築に尽力する所存  
です。



小児救急科 近田 照己 医長  
平成23年9月1日入職  
①平成12年 日本医科大学  
②小児救急科医療・小児アレルギー  
③臨床研修指導医・日本小児アレルギー学会・日本小児救急医学  
会所属・AHA PALS provider  
④地域の先生方と連携し、二次救急を  
を中心に小児救急に貢献でき  
ればと思い当院に来ました。



外科 勝田 美和子 医長  
平成23年10月1日入職  
①平成10年 日本医科大学  
②消化器外科 外来日：火曜日  
③日本外科学会外科専門医  
日本消化器病学会消化器病  
専門医  
④大学病院より派遣で参りました。  
よろしくお願ひします。



耳鼻咽喉科 櫻井 恵梨子 部長代行  
平成23年10月1日入職  
①平成16年 東京医科大学  
②音声医学  
③耳鼻咽喉科学会専門医  
④音声を専攻しています。  
どうぞよろしくお願ひします。



内科 滝澤 美保 医師  
平成23年10月1日入職  
①平成16年 東京女子医科大学  
②糖尿病  
③日本内科学会  
日本糖尿病学会専門医  
④病棟での血糖コントロール  
などご紹介下さい。

①卒業年度・出身大学

②専門分野

③資格等

④自己紹介

## 診療科紹介

# 外 科

常勤の外科医全員集合写真（みんな明るく元気で良く働きます！）



土屋喜一 医長

川本聖郎 医師

秋丸琥甫 部長

勝野 晓 医長

進士誠一 医長（退職）

日本医科大学付属病院から外科チームが佼成病院に来て4年目になりました。

佼成病院は働きやすいところです。外科チームの守備範囲は消化器外科を中心とした一般外科ですが、乳腺外科と呼吸器外科、末梢血管外科、小児外科が非常勤で含まれます。私達は患者さんと病院職員に優しく親切に接し、仕事を誠実にこなし納得のゆく結果を出し、患者さんと御家族に最良の医療を提供することを目標に日々努めて参りました。また、地域医療機関と密に連携し、3年後の新病院開院に向けて徐々に手術件数増加と外科医増員を目指して気合いが入っております。



内山 正一 医師  
毎週火曜日の大腸・肛門専門外来  
痔や出血でお悩みの方はどうぞ



飯田 信也 医師  
毎週金曜日の乳腺専門外来  
お陰さまにて毎年忙しくなっており  
ます。乳腺のことなら何でも御相談下  
さい。



富士崎 隆 医師  
毎週木曜日の乳腺および末梢血管外来  
乳腺と下肢血流障害が専門で静脈瘤の手  
術も行います。



三浦 弘之 医師  
毎週金曜日の呼吸器外科外来  
肺癌、縦隔腫瘍、胸部外傷などを担当して  
おります。特に肺癌は手術のみならず、診断から抗  
癌剤治療・放射線治療を含めた集学的治療、癌性疼痛に  
対する緩和治療を行います。胸部異常陰影を指摘された方、  
喫煙者で咳の続く方など、呼吸器に不安のある方は御気軽に受診  
してください。



浮山 越史 医師 渡邊佳子 医師  
毎週水曜日の小児外科専門外来  
杏林大学より出向中。  
小児外科疾患、例えば鼠径ヘルニア  
包茎、便秘等なんでもご相談下さい



# やわらぎツアー

## 佼成病院の東日本大震災被災者支援活動報告

立正佼成会が企画した「こころひとつに」プロジェクトのひとつに、「やわらぎツアー」と称する活動があります。長期化する避難生活をおくる被災者のみなさんに心身をリフレッシュして頂くために、被災地近くの温泉や東京都杉並区の立正佼成会第二団参会館にお招きし、「入浴による心身の癒し」、佼成カウンセリング研究所による「心の相談」、会員の専門家による「マッサージケア」・「フェイシャルエステ」や佼成病院医師、看護師による「健康相談」が継続的に行われております（P13、表参照）。そのなかで「健康相談」に参加されたメンバーの中から福原富男医師（臨床検査科部長）、二階堂孝医師（病理科部長）、藤野みちよ（看護師）にインタビュー形式で話を伺いましたのでご紹介します。

### 自分たちも被災者の為に役に立ちたい

福原：私が最初に参加したわけですが、院長より「やわらぎツアー」への参加依頼があり、一応「はい」と依頼を受けましたが、何をするのか、何ができるのか悩みました。その後、本部の山尾次長（やわらぎツアー責任者）さんが訪ねて来られて、主旨を伺い、参加する事にしました。

被災された方の為に、何かお役に立ちたいという気持ちは、基本的に皆さんお持ちだと思います。その機会を下さったということに、私は感謝しました。自分なりに出来ることを、何かさせて頂きう、という気持ちで出かけたわけです。一泊二日で自分に何ができるかと考えた時に、まずは話を聞いてあげることだと思いました。

私は医者になった時に恩師からは、「患者さん

の悩みをよく聞け」と言われました。それに徹すれば良いのではと思い参加しました。

ツアーには54名の方が参加されました。最初は、私と看護部長が一つの部屋で、問診・血圧測定を行い、その後、私が相談を受けましたが、同じ部屋だとスペースに限りがある為、プライベートな相談ができないこともあります。5月19日の時点では、血圧が高い人がほとんどでした。それから持病がある人も多く、喘息のある方は発作が起きて、私たちの部屋で休んでいただきました。

1人30分を目安に、お話を聞かせて頂きました。現場の生の声は、頭で想像していたものと違いました。身内が亡くなっている。家が無くなっている。生活をどうしようか。診療所や病院が無くなっている自分が飲んでいるお薬を継続できなくなっている。

自分の主治医が居なくなった。がんの手術の予定があるがどうすればいいのか。などの相談。又、相談したいが息子が行方不明で・・・等々。

1日目の医療相談が終わると、看護部長と私は、スタッフの方から、「とにかく、温泉にゆっくりつかって寝て下さい」と言われました。でも重い話の後では、その日はなかなか寝付くことはできませんでした。



相談を受ける福原医師

翌日、看護部長から「女湯では、笑い声が絶えなかったですよ」と聞き、男湯の光景と比べてみると、少し差があるなと思い、女性はたくましく、気持ちの切り替えも早いのかなとも思いました。

次の日の朝も相談を行いました。プログラムの終了に際し「手のひらを太陽に」を皆で手をつないで踊ったりしました。最後に話をと言われたので、校成会の会員（信者さん）なので、私は仏教の話と医学を混ぜて話をさせて頂きました。また、帰ってからも出来ることでお釈迦さまの呼吸法も指導しました。

最後はバスをお見送りしましたが、皆さんに笑顔で手を振っていただきました。

「あ～少しは役に立ったのか」と思って帰ってきました。

設楽：第一回目で困ったことはありましたか。

福原：看護部長と私が困ったのは、患者さんが持参している治療薬が、どのような薬なのかが不明なので、結構困りました。

それで、薬品に関する情報ソフトを、次回から持っていくことにしました。

## 自分たちにできることは

設楽：では、二階堂先生に話を伺います。

二階堂：僕は2回目だったので、福原先生が現場で困ったこと、例えば、血圧測定する場所と、実際に話をする場所を別にしていたし、いろんなところが改善され、特にハード的に困ったということはありませんでした。

僕は、医療相談というのはとってもウエイトが大きいと思っていました。僕は病理医ですから、20年ぐらい生きた人を直接診ていない、だから20年ぶりに、マンシェット（血圧計とつながったゴムの袋の入った細長い布）を巻きました。自分自身とても緊張していて、ありとあらゆる資料を用意しました。各学会で災害の初期直後から時間経過とともに、どんな病気が多いかも勉強しました。とくにメンタル面では、精神科の中野先生にずいぶん教えてもらいました。やはり、福原先生がおっしゃるとおり、話を聞くことなんですね。

被災地や避難所とは違う環境で、お互いの安否を確認し合い一泊ツアードしたが、お風呂に入れる、ごはんを食べられる、マッサージ等、安心して生活できるひとときであったと思います。

設楽：参加人数は118人だったですよね？

二階堂：医療相談にみえたのは30名ほどでした。

それでも相談にこられた方の多くは不安をもっており、肩の力をぬいて、話を聞く、医師としてというより、普通の病気をチョット知っているという感じで、話を聞かせて頂くことでいいのかなと思いました。



足の様子を伺う二階堂医師



僕のかみさんの出身地が被災し、実際、被災地や避難所も見ました。どれだけ劣悪な環境かよく知っています。だからなんとかバックアップしなければならない。今回の「やわらぎツアーア」の話があったときに、ぜひ協力をしなければと思いました。医療相談は夕方と、翌日の午前中ですが、1人のおばあさんが夜と朝2回相談にみえたのですが、日曜日の朝に、僕と小林師長さんに「お世話になりました」と言って、お菓子を持ってきました。被災者である、そのおばあさんはもちろん心の余裕も無いだろうし、相手を気遣う余裕や金銭的な余裕も無いだろうにと思いながら、胸に熱いものがこみ上げてきました。

おばあさんの優しさに触れながら、この震災のときに自分で出来ることはなんだろうと自問自答しました。信者さんにとって校成会はものすごい心のよりどころとなっている。もし、釜石教会がきちんと残っていれば、そこがまず、自分のよりどころとなったはずです。いろいろな要因もあるとは思いますが教会がすぐには再建されないのは、少なからず金銭面での問題もあるのかなと、自分勝手に思いました。私どもの病院は少なくない赤字を作っている。それが会の活動を縮小させてしまう要因にもなっているのではないかと。つまり僕らのできることは…病院の赤字をできるだけ少なくすれば、1円でも少なくすれば、それが、めぐりめぐって、被災した方々の援助に繋がっていく。その為には、職員のモチベーションをあげなければならない…という切に思いました。

## ささえてあげたい

設楽：では藤野さんには第二回参會館で、「やわらぎツアーア」に参加したときの感想についてお話をお願ひします。

藤野：脳神経外科の北川医師と一緒に活動しました。部屋は個室で行っています。

「何かしてあげなくては」との気持ちで、内容もあまりわからないまま参加しました。

来られた方のなかには、血圧が高くこの薬を飲んでいるがコントロールができていない。

北川先生的には、お薬を変えてあげたいが、薬を変えたとしても、その後のフォローができない。結局いま変えてもフォローができないから変えられない。自分との葛藤がありました。話を聞いてあげるしかないと北川先生と話を聞きましたが、個室だったので感極まって泣きながら話す方とか、お子様を連れてきた方は

「親戚の家に子供を連れて、移っているけど、被災前は一軒家で自由に走り回っていたのが、一部屋になり、家族5人で狭い部屋で暮らしている。親戚とはいえ、気を遣いながらの生活のストレスがあって厳しい、本部参拝に来てノビノビと子供が走り回れる自由や、にこにこ笑いながら過ごせる時間や場所を作ってもらいたい、話を聞いてもらえて、うれしい」と話されていました。もっと、支えてあげたいと思いましたが、「話を聞いてもらえただけでもうれしい」と言って頂けたので、よかったですかなと思っていました。



血圧測定をする藤野看護師



福原：私の家族は、「私たちもなにかやってあげたいと思っていた。お父さんは家族の代表としても行くのだから頑張ってきて」と言ってくれました。

二回目に参加したツアーは、一回目のことを反省して、こういうものがあったほうがよいと思ったものをそろえて行きました。

今回は、石巻で私の同級生が開業しており、その先生のところは無事だったので、このやわらぎツアーで、もし何かあったらフォローをお願いしますと事前に連絡をしておきました。

また、参加者には同級生が診療しているよとアドバイスもできました。帰りには、みなさん感謝の手を振ってくれました。俺でも少しは役に立ったのかなという思いはありました。



## 今後のために

設楽：もし、佼成病院がもう少しなにかできるとしたら、どんなことができたらいいと思いますか。

二階堂：僕が思ったのは、災害直後の対応と、数ヶ月が過ぎたときの対応はぜんぜん違うと思います。最初の3カ月の間は、被災地に行きなにかをやる。その後は、患者さんを被災地から転送すること。臨月近い妊産婦さん、慢性疾患をかかえて危ない患者さんを、大型バスで連れてきて、団参会館をベースキャンプにして、病院に通院する人に開放して、入院が必要な方には入院してもらえば良いと思います。

福原：そういう施設はあるのだから、診療費のことは後から考えることぐらい言ってあげれば良いと思う。

二階堂：一般の人は地元から離れるのに抵抗があると思いますが、信者さんからしてみれば、短期間であれば、それほど抵抗はないと思うのです。そういったシステムを、危機管理として考えておく必要があると思います。

福原：次は起こってほしくないけど、何かが起こった時にはできるようにしておくべきだと思う。

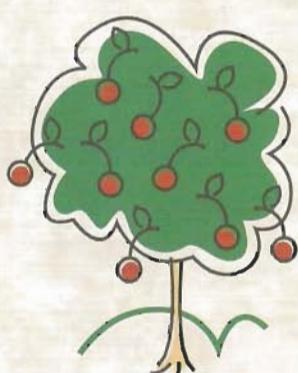
福原：今回もD-MAT (Disaster Medical Assistance Team=災害派遣医療チーム=) が最初に出動したが、本当にやれることはなかった。ほとんどの隊員は帰ってきました。

設楽：宿泊施設（団参会館）があり病院があり、ほとんどがそろっていることを考えるとそういうことも考えておく必要があるということですね。

二階堂：こっちのスタッフも、病院の環境だったら吐血している患者さんなど、自分のスキルを生かせる。もちろん現地で一生懸命やることも必要です。

福原：今後、参加したメンバーの反省会等を通して、活動にも積極的に参加できるシステム作りが重要と考えます。

設楽：本日は有難うございました。



インタビュー風景

# 立正佼成会附属佼成病院 東日本大震災被災者支援活動(やわらぎツアー)

日時	場所	対応者			参加地区	参加人数
		医師	看護師	事務		
3月12日(土)～3月18日(金)	宮城県仙台市他 医療救護班		小松 恵子			
3月22日(火)～3月28日(月)	宮城県仙台市他 医療救護班	鈴木 和仁	畠中 孝子			
4月9日(土)～4月10日(日)	東京都杉並区 立正佼成会第二団参会館	中村 隆光 南郷 智香 多田 光	小林 ひろ子 田川 幸子	中島 由佳 小林 謙之	平教会	86
4月23日(土)～4月24日(日)	東京都杉並区 立正佼成会第二団参会館	中野 徹 鈴木 和仁 多田 光	山崎 憲子 山崎 ゆう子	中島 由佳 斎木 久美子 小林 謙之	平教会 磐城教会	101
5月19日(木)～5月20日(金)	岩手県 花巻市(ホテル志戸平)	福原 富男	小室 早苗		釜石教会	61
6月11日(土)～6月12日(日)	岩手県 花巻市(ホテル志戸平)	二階堂 孝	小林 ひろ子		釜石教会	120
6月20日(月)～6月21日(火)	山形県 東根市(たびやかた嵐湯)	神保 好夫	花見 ひとみ		石巻教会	45
7月14日(木)～7月15日(金)	東京都杉並区 立正佼成会第二団参会館	北川 亮	藤野 みちよ	高橋 淑郎 石江 まど香 渡辺 竜也	原町教会	33
7月16日(土)～7月17日(日)	東京都杉並区 立正佼成会第二団参会館	干川 就可 岩崎 正知 多田 光	小室 早苗 平 初江 大江 ミツ子	高橋 淑郎 中島 由佳 三上 記代子 小林 謙之	茨城教会	111
7月19日(火)～7月20日(水)	宮城県 花巻市(ホテル志戸平)	中野 徹	船橋 千晴		釜石教会	121
7月24日(日)～7月25日(月)	岩手県 一関市(一関かんぽの宿)	林 茂一郎	倉本 春香		石巻教会	25
8月2日(火)～8月3日(水)	宮城県 大崎市鳴子(幸雲閣鳴子温泉)	福原 富男	小室 早苗		石巻教会	45
8月24日(水)～8月25日(木)	山形県 東根市(たびやかた嵐湯)	中野 徹	山崎 憲子		石巻教会	69
9月3日(土)～9月4日(日)	東京都杉並区 立正佼成会第二団参会館	中村 隆光	鈴木 智子	渡邊 修孝 小林 謙之	原町教会	43



# 備えてますか？ 防災備品チェック表！

非常用持ち出し品を準備していますか？？

いざという時！こんなものがあれば！と思うものをあげてみました。  
自分の準備している物と照らしあわせて、チェックしてみて下さい。



## ★★15の最重要品

品名	個数	チェック欄	備考
1 飲料水500mlペットボトル	2本		持ち運びを考えて、1日に必要な量の半分
2 非常食	1個		乾パン・ビスケットなど缶切り不要 賞味期限チェック
3 懐中電灯	1個		使い慣れたものを
4 応急医薬品	1セット		消毒薬・脱脂綿・ガーゼ・絆創膏・包帯・三角巾
5 ローソク・ライター	1個づつ		ローソクは長時間使える。ライターは暖房器具への点火
6 携帯ラジオ	1台		情報収集に必要不可欠
7 予備の乾電池	2本～		懐中電灯や携帯ラジオ用に準備
8 ビニール袋	5枚		凡用性高い。大小あわせて1人5枚
9 レジャーシート(1畳)	1枚		1人1畠分の広さ
10 マスク・帽子・軍手	1個づつ		マスクは防寒用にもなる。軍手は丈夫で熱に強いもの
11 運動靴	1足		履き慣れたものを。ベッドの下か枕元に置く
12 タオル	2枚～		凡用性高い。少し多めに
13 ウエットティッシュ・ティッシュペーパー	1個～		多用途
14 身分証明書・緊急連絡先メモ	1セット		健康保険証・年金手帳・免許証などのコピー
15 ザック(非常袋)	1個		玄関先か枕元に置く。子供用も準備しておくとよい

## ★13の重要品目

品名	個数	チェック欄	備考
1 上着・下着	1枚～		状況や季節によって中身や数を決める
2 持病薬・常備薬	1セット以上		もしくはこれらの処方箋かお薬手帳・メモ
3 オムツ・生理用品	1セット		生理用品は傷の手当てにも可
4 母子手帳	1冊		
5 眼鏡・入れ歯・コンタクト日常の必需品	1セット		必要に応じて
6 携帯電話・充電器	1台		充電器は乾電池式の携帯タイプなど
7 現金・通帳・印鑑・キャッシュカード	1セット		通帳はコピーでも可
8 筆記用具	1セット		メモ帳とペン
9 ホイッスル	1個		連絡用
10 使い捨てカイロ・歯ブラシ・歯磨き粉	1セット		
11 ロープ	1本		長さは5m太さは12mm軽量ナイロン製のものが好ましい
12 多機能ナイフ・はさみ	1個づつ		切る、削るなど
13 ゴミ袋	1セット～		数枚重ねる事で簡易トイレや雨具にもなります

※参考著書：ニッポン放送「大地震発生！生き残るために77の教え」

※ 常備薬とは…

救急絆創膏・包帯・ガーゼ・消毒薬・鎮静剤・整腸剤・風邪薬・湿布薬、服用している薬など  
最低限これらのものが用意されているかを確認して下さい。

非常用持ち出し品は、数箇所に用意しておくとよいです。いざという時に持ち出せなければ意味がありません。玄関など入り口付近にも準備しておくとよいでしょう。

防災委員会

## 40余名の地域の先生方にご参加頂いて ～医療連携講演会が開催されました～

去る9月13日(火)夜、中野サンプラザに於いて立正佼成会附属佼成病院が主催する医療連携講演会が開催され、地元中野区を始め杉並区・新宿区・渋谷区・世田谷区から41施設44名の医療関係者のご参加を頂き、有意義な医療連携の会となりました。

冒頭、神保好夫院長より、新病院建設に向けて助走に入った当院にとって、地域住民の皆様に本当に役立つ病院にするため、職員一丸となって努力中であることが報告され、続いて河口正雄副院長を座長に学術講演会が開催されました。

### <学術講演> ～地域の先生方の日常診療に役立つために～

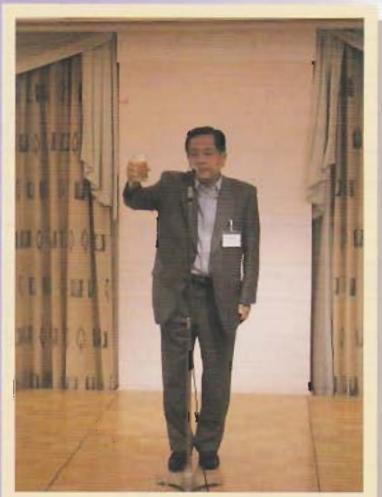


東京医科大学 耳鼻咽喉科主任教授 鈴木 衛(まもる)先生

東京医科大学 耳鼻咽喉科主任教授 鈴木 衛(まもる)先生にご講演を頂きました。演題は「日常診療におけるめまいのみ方」ということで、フローチャートや動画を交えて熱心に講義される先生と、診療を終えてかけつけられた多くの先生方が、熱心にメモを取りながら講演に聞き入っておられる姿を間近に拝見し、地域医療を支える先生方の熱意が伝わってくるような思いました。

どうしたらより早く的確な診断を下し最善の治療を提供できるのか、といったお話を伺い、全ては患者さんのため・・・・という先生方の熱い思いを感じました！

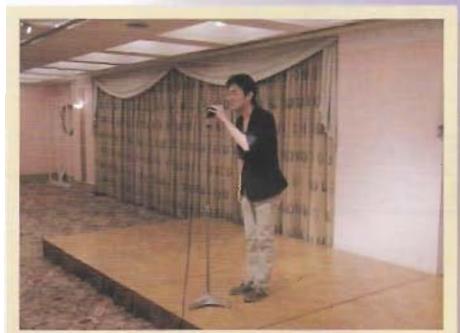
### <第二部 情報交換会> ～患者さん中心の顔の見える連携推進のために～



中野区医師会 副会長 山田 正興 先生

開会に先立ち、10月から稼働予定の「小児救急科」の服部圭太部長からご挨拶をさせていただきました。（小児救急科の詳細については後日ご案内させていただきます！）

中野区医師会副会長の山田正興先生の乾杯のご発声の後は徐々に場も和み、あちらこちらで会話に花が咲いていました。



小児救急科 服部 圭太 部長

また会の半ばでは中野区医師会副会長 溝口雅康先生、中村診療所 中村洋一先生からもご挨拶をいただき、当院への期待と励ましを込めたお言葉に身の引き締まる思いでした。

初対面の先生方も多く、貴重な出会いの場となったことはもちろんのこと、日頃ご紹介いただいている先生方からは、急患依頼の時などに「自分の専門とする分野ではないので診れない・・・」ということがあるが、地域からの依頼にはまず診させていただくという前向きな姿勢で臨んでほしい、など日常診療でのご要望や今後の病院運営へのご意見なども伺うことができました。また近隣病院の連携担当者の方々との情報交換のなかで、患者さん転院の際のよりスムーズな連携のあり方について今後はより緊密に連絡を取り合い、患者さんとご家族に安心感をもって転院していただけるよう努力していくことを確認させていただくことができました。

こうして和やかな雰囲気のなかにも病診連携・病病連携、ひいては地域連携の大切さを再認識させて頂く貴重な場となったのでした。

最後に医療連携室の中野徹室長



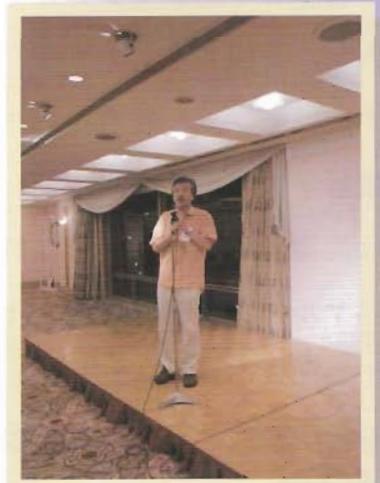
より閉会のご挨拶をさせていただきました。当院では医師同士・診療科間での連携がまだ弱い部分もあり、今後はそうした内部連携強化に努め、地域の先生方からのご要望により一層応えられるような体制づくりに邁進していく旨を述べさせていただき、会はお開きとなりました。

日頃電話やFAXでのやり取りが多い連携医療機関同士の先生方やスタッフが、一堂に会してコミュニケーションを深め、まさに「顔の見える」連携推進の場となり、短い時間ではありましたが、多くの先生方の地域医療への熱い思いが日常診療を支え、その先生方の思いにお応えしていくことが、当院の使命であると実感させていただいた医療連携講演会となりました。

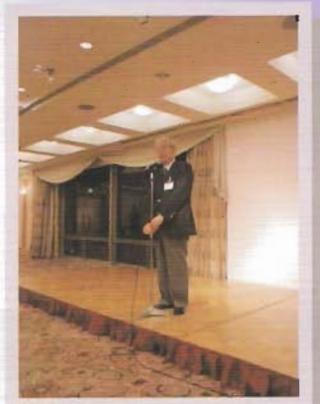
まだまだ非力ではありますが、これからも地域密着型病院としてさらなる精進をさせていただく所存です。



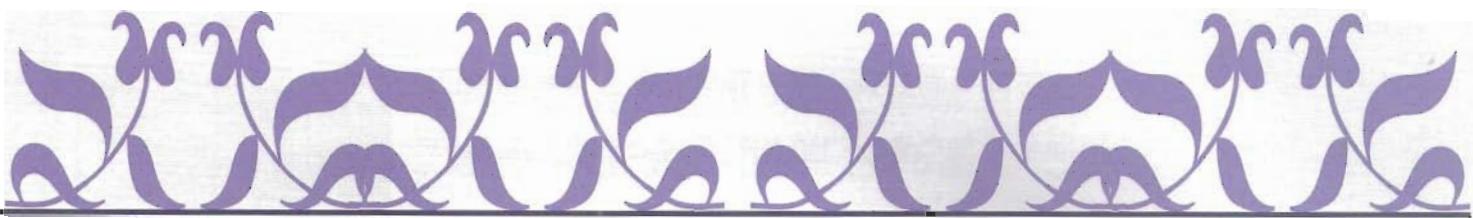
中野区医師会 副会長  
溝口 雅康 先生



中村診療所  
中村 洋一 先生



医療連携室 中野 徹 室長



Сайн байна уу. (サンベノ) こんにちは

看護師として母国の保健衛生向上を目指して日本語勉強中

「立正佼成会 モンゴル看護師育成支援プロジェクト」はモンゴル医療の発展に貢献する事を目的として、看護師を志すモンゴル人留学生を立正佼成会が受け入れ、育成するものです。このプロジェクトのパートナーはモンゴル政府から推薦された、モンゴル国立健康科学大学です。平成21年12月22日に立正佼成会からは渡邊恭位理事長、神保好夫佼成看護専門学校校長（現佼成病院院長）が、モンゴルからはオトゴンバヤル・ヨンドン教育文化科学大臣、ハグワスレン・ツェレンフー同大学学長らの出席のもと同大学で調印式が執り行われました。



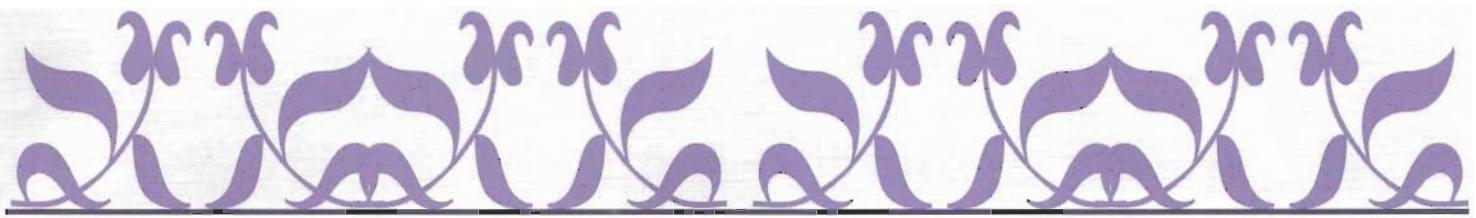
看護師育成のためのスケジュールですが、来日後、看護学校入学のための必須条件である、日本語検定2級合格をめざし1年間の日本語教育を学習します。その後、佼成看護学校専門学校に入学し看

護師国家試験合格を目指します。はれて看護師になったあとは5年間の実務経験を積み、その後、帰国しモンゴル国立健康科学大学で看護教育に携わることになります。



サンブーさん・ポロルトヤさん





## どこでも行けますよ



先日、モンゴル国立健康科学大学から推薦、試験をパスし、昨年11月15日に来日した、一期生のГанчулүүн Самбуу（ガンチュルーン サンブー）さんと Баатаржав Болортүяа（バートルジャブ ボロルトヤ）さんにお話を伺いました。

来日直後は、日本語に苦労したそうですが、お会いした時は流ちょうな日本語を話され、今では、iPhoneを片手にどこでも行けるそうです。

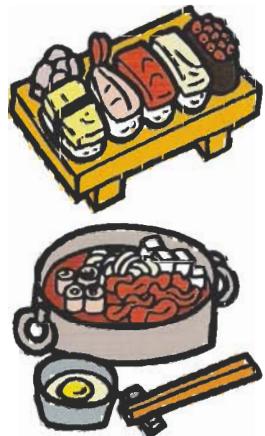
日本語学校では多くの外国人の友達もできました。ホームステイは金沢で行い、休日には葛西



臨海水族館、鎌倉、横浜なども訪れたこともあり、なかでも長岡の花火は素晴らしかったと楽しそうに話していました。

日本食では、「すき焼き」「すし」がとても好きだそうです。

「院長先生ツレテッテー」と言つていました！！！！！！



将来の夢は、プロジェクトがスケジュールどおり進み、サンブーさんは看護師育成の先生に、ボロルトヤさんは手術室担当の看護師になりたいとも話しをしていましたが、モンゴルの国家プロジェクトでもあることから、モンゴル国立健康科学大学で看護教育に携わることになるそうです。

サンブーさんとボロルトヤさんの出身地はウランバートルから700kmと1500Km離れていて、満天の星空を見ることができるそうです。そんな星のごとく瞳はキラキラ輝いていて、両名とも希望に満ち溢っていました。

日本語検定2級合格を目指して猛勉強中の合間を失礼してのインタビューでしたが、笑顔がとてもチャーミングなお二人でした。



## わかばサークルの今



2009年3月から始まったわかばサークルも早いもので31回目をむかえました。

当初は平均5~6組のお母さんとお子さんが参加してください、ペアになって腰痛体操やアロマを使用してハンドマッサージなどを行い、コミュニケーションをとっていましたが年々参加者が増え、今では毎回平均20組のお母さんと赤ちゃんが参加してくださり嬉しい悲鳴を上げています。

そのため、会場のスペースも狭く以前のように何かイベントを行うこともできなくなりましたが、参加されているお母さん達は思い思いにお話をしたり、写真を撮ったり、助産師に育児相談をしたりして楽しそうに過ごされています。

以前の参加者はほとんどが当院でお産されたお母さん達でしたが、今では、インターネットでホームページを見た方や、出産は他院ですが、当院小児科の受診時に掲示板で知ったという方、お友達から良かったと聞いた方など、様々で、回を重ねるごとに参加人数が増加しているのを見ると、いかにお母さん同士の交流の場が少ないかが伺えますし、あらためてこういう場は必要なのだと感じています。



みんなおもちゃ  
大好き☆





参加されたお母さんから「中野区の保健所での交流会より人数が多い」というお話を聞いたり、「わかばサークルに来ることが外出の機会です」というお母さんや「1歳過ぎても参加したい」という声、助産師に相談して「育児をもっと前向きにとらえ

られました」「悩んでいるのは自分だけじゃないんだと思って安心しました」などの言葉をいただき、助産師としてやりがいを感じられる場であると実感しています。また、お子さんの成長を私たちも感じることができる素敵なお子さんたちです。

これからわかばサークルとしての活動はいかに狭いスペースで快適に過ごせるか、以前のように何かイベントなど行えるかなど課題はありますが「助産師さんに会えてお話を聞いてもらえてよかったです。」というお母さん達の気持ちを大事に、この会を継続していくように頑張っていきたいと思っています。

〈5 西病棟 小畠幸子〉

2ヶ月～1歳まで様々な月齢のお子様たちです！！



### わかばサークル

対象：1歳未満のお子様とそのご両親・兄妹  
場所：佼成病院東館7階 講堂  
日時：毎月第2木曜日 13:30～15:30  
持ち物：授乳用品、母子手帳、オムツ交換セット、バスタオル 必要時（おもちゃ、お菓子）

お茶（紙パック）を用意しております。  
※当日は、直接会場においてください。

# 佼成病院外来診療表

平成23年11月1日現在  
中野区弥生町5-25-15  
佼成病院 医療連携室  
03(3383)1281(代表)

		月	火	水	木	金	土	備考
内科	一般	午前	小林 陽二 前田 さみ子	橋本 起一郎 中村 隆光	小林 陽二 前田 さみ子	千川 就可 平尾 健太郎	中村 隆光 松永 直久	石井 章子
							★ 午後は完全予約制	
	呼吸器	午前 午後					三浦 弘之	杵庭 豊(2.4週)
			★中田 潤子				三浦 弘之	
	消化器	午前	清水 雅文	清水雅文・酒井義浩	宮田 祐樹	竹下理恵・酒井義浩	宮田 祐樹	
		午後	千川 就可	山口 法隆	★千川 就可	山口 法隆		
	血液	午前				宮岡 良卓		
		午後			★外丸 良			
	腎臓	午前	外丸 良		岩崎 正知		岩崎 正知	
		午後						
	神経	午前						
		午後						
糖尿病	午前	滝澤 美保	石澤 香野			松河 敬子		
	午後		★石澤 香野	★高木 三貴	★登坂 純佳	★松河 敬子		
精神科	午前	★中野 正寛	★中野 正寛	★中野正寛・★大下隆司		★中野 正寛	★中野 正寛	★完全予約制(外来のみ) 初診は紹介状が必要です
	午後			★大下 隆司				
小児科	午前	外医	多田 光	多田 光	多田 光	多田光(1.2.3.6週)		
		外医	外医	外医	外医	外医		午後外来・月～水15:00～19:30 木17:00～19:30金13:00～19:30 (17時以降は急患室)
	午後	外医	外医	(午後第4のみ外医)	外医			
小児救急科	午前	★服部 圭太・近田照己	★服部 圭太	★近田 照己	★服部 圭太	★服部 圭太・近田照己		★は原則予約制。 月・土午前は交替制。
	午後	★服部 圭太	★近田 照己	★服部 圭太	★服部 圭太	★服部 圭太		
外科	一般	秋丸 琥甫	秋丸 琥甫	外来担当医	土屋 喜一	秋丸 琥甫	勝野 啓(1.3.5週) 川本聖郎(2.4週)	★は予約制で13:00～15:00
		勝田 美和子		富士崎 隆		★秋丸 琥甫		
	午後	★秋丸 琥甫	★秋丸 琥甫					小児は14:00～15:00
	小児			岸山雄史・渡辺佳子(交代)				
肛門	午前		内山 正一					
	午前					飯田 信也		
脳神経外科	午前	北川 亮	南本 新也	北川 亮	森 良介	中村 文	北川 亮	
整形外科	午前	三浦 信明	佐藤 功一	小島 一則	佐藤 功一	三浦 信明	佐藤功一・小島一則・ (1.3.5週)	
		佐藤 功一	小島 一則	鞠負 耕史	真鍋 典世	佐藤 功一	三浦信明・鞠負耕史 (2.4週)	* 鞠負は「ゆきえ」
形成外科	午前	犬塚 肇		朝本 有紀		犬塚 肇	★神保 好夫	★は原則予約制
			手術の為休診		手術の為休診	朝本 有紀	犬塚 肇	
	午後		朝本 有紀			外來担当医	朝本 有紀	* 初診時の予約も可 火・金午後は13:30～15:00
循環器科	循環器 内科	★河口 正雄	★河口 正雄	★吉崎 真澄	★河口 正雄	★河口 正雄	★河口 正雄	★は予約制
		吉崎真澄(初診) 笠井夕美子(初診)	小池紋未(初診)	★外来担当医	吉崎真澄(初診)	吉崎真澄(初診)		
	午後	亀山 飲一		鈴木 和仁		鈴木 和仁		午後は14:30開始
	心臓血管外科	★河口 正雄	★河口 正雄	★吉崎 真澄	★河口 正雄	★河口 正雄		
	小児	★吉崎 真澄			★中島景智・吉崎真澄			火14:00、金13:30開始
産婦人科	午後		*齋藤博之(2週のみ)			★三枝 直樹		
	小児	★水上 愛弓						小児は14:00開始
	婦人科	木村 英三	中野 真	高尾 美穂	高野 浩邦	木村 英三	木村 英三	
耳鼻咽喉科	午前	小林 重光	岡村 恵子		小野寺 潤子	林茂一郎・高尾 美穂	中野真・高尾美穂	
	午後	小野寺 潤子	青木 陽子	中野 真	高尾 美穂	岡村 恵子		
眼科	午前	櫻井 恵梨子	河野 淳	清水 雅明	櫻井 恵梨子	稻垣 太郎	櫻井 恵梨子	★は予約制
		西山 信宏			萩原 晃			午後は13:30～15:30
	午後	★めまい・難聴外来	★補聴器外来	齊藤 雄	★特殊検査外来	北村 剛一		
皮膚科	午前	椎名 廉子	沖坂 重邦	堀内 永子	堀内 永子	堀内 永子	堀内 永子	
		飯塚 佐知子		飯塚 佐知子	飯塚 佐知子	飯塚 佐知子・斎井英介	飯塚 佐知子	午後は13:30～15:00
	午後	椎名廉子・飯塚佐知子	堀内永子・飯塚佐知子			堀内永子・飯塚佐知子		
泌尿器科	午前	多田 弥生	梅原 嘉一	多田 弥生	多田 弥生	梅原 嘉一	多田 弥生	
		梅原 嘉一	川口 真喜子	梅原 嘉一	川口 真喜子	川口 真喜子	梅原嘉一・川口真喜子	★は予約制
	午後	★川口 真喜子	★乾癬外来					14:00～16:00
歯科	午前	富田 雅之	鈴木 博雄	富田 雅之	鈴木 博雄	富田 雅之	鈴木 博雄	
ペインクリニック	午前	秋庭 忍	浪越 智子	秋庭 忍	秋庭 忍	秋庭 忍	秋庭 忍	予約制(初診は予約なし)
緩和ケア	午後	相田 純久			相田 純久			月・木曜のみ8:30～11:30
放射線科	午後	★林茂一郎・鹿毛久寿江		★林茂一郎		★林茂一郎・鹿毛久寿江		★完全予約制 13:00～
漢方	午前	中村 番穂			中村 番穂			月曜13時～・木曜15時～初診のみ
								★笠原裕司・地野充時 完全予約制(外来のみ)

## ○ 診療受付時間

	午前 (*は予約制)		午後 (*は予約制)	
精神科	月火水金土	*8:30~11:30 (木曜は休診)	水	*13:30~15:30
小児科	月~土	8:30~11:00	月~水 金13:00~19:30	15:00~19:30 *17時以降は急患室にて。
小児救急科	月~土	*8:30~11:00	月~金	*14:00~16:30
外科	月~土	8:30~11:30	水(小児) 月・火・金	14:00~15:00 13:00~15:00
脳神経外科	月~土	8:30~11:30		
整形外科	月~土	8:30~11:30		
形成外科	月水金土	8:30~11:30	火金	13:30~15:00
循環器科	月~土	8:30~11:30		
産婦人科	月~土	8:30~11:30		
皮膚科	月~土	8:30~11:30		
耳鼻科	月~土	8:30~11:00	火水金	13:30~15:30
眼科	月~土	8:30~11:30	月火金	13:30~15:00
泌尿器科	月~土	8:30~11:30		
歯科	月~土	8:30~11:30		
緩和ケア外来	月・木曜のみペインクリニック外来	8:30~11:30	月水金	*13:00~
放射線科				*月曜13:00~・木曜15:00~初診患者さんのみ
漢方外来	土	*8:30~11:00		

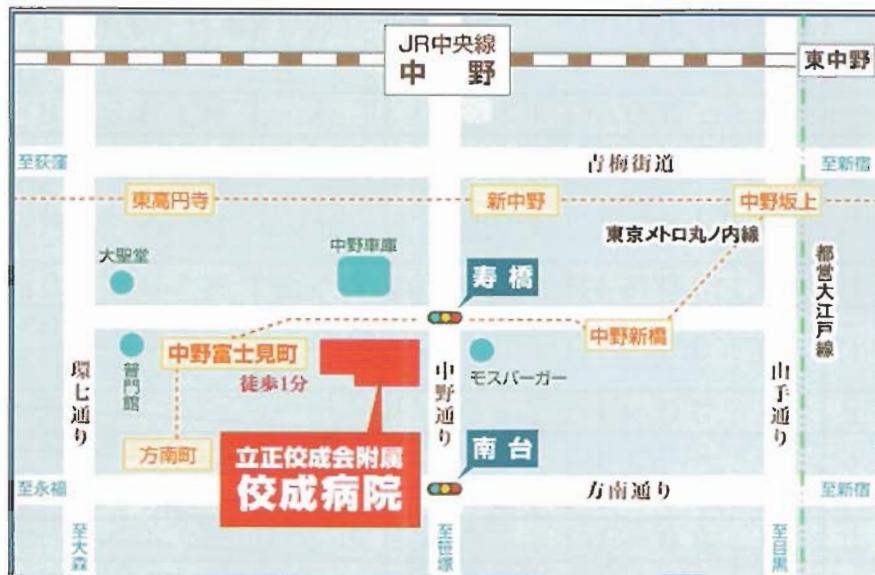
## ○ 紹介患者さまの連携窓口

外来診療のお申し込み	医療連携室 [平日9:00~17:00土曜日14:00まで] 電話03-5340-5104 (直通) FAX03-5340-5104 (直通)
緊急診療のお申し込み	医療連携室 各科外来診療医
夜間休日診療のお申し込み	当直医 (内科・外科系・産婦人科・循環器科はCCU当番日のみ) *小児科の休日診療はありません
放射線科検査ご予約 (X-P・CT・MRI・RI ・超音波・注腸)	放射線科受付 M R I : 03-5340-5566 (直通) CTその他: 03-5340-5770 (直通)
緩和ケア病棟についてのご相談	扶友センター緩和ケアビハーラ病棟 [平日 9:00~17:00] 電話03-3383-1281 (代表)
療養型病床についてのご相談	医療連携室 医療福祉相談 [平日 9:00~17:00] 電話03-5340-5108 (直通)

ご不明な点・報告書の未着等ございましたら、  
医療連携室までお問い合わせください。

医療連携室 担当: 渡辺・西森

## 周辺地図



## 周辺拡大図



### 面会時間

平日・土曜日  
14:00~20:00

日曜祭日  
11:00~20:00

※5 西病棟 (女性病棟)  
平日・日曜祭日共  
14:00~20:00

### 真観とは…

立正佼成会の庭野開祖さまより、お示し頂いた創立理念です。

「真観」とは、法華経の觀世音菩薩普門品にある一句で、この世の人々が直面している苦(「憂・悲・苦・惱」一心配や不安、悲しみ、苦しみ、悩みー)について、それぞれの姿・形・有り様(諸相)をつぶさに知り尽くすと同時に、その本質を究めて見とおすこと(菩薩の智慧)と言えます。

身体の病だけを治療する病院ではなく、心身の病を診療し治癒せしむる病院でありたいと願っております。

### 編集後記

今春にリニューアルした広報誌「真観」も、おかげさまで第2巻を発行させて頂くことができました。心より感謝申し上げます。

この「真観」を通じて、患者さんやご家族、地域の先生方に、佼成病院の“今”と“これから”をお伝えできたらと思っています。皆さまに親しまれる広報誌を目指して、毎号充実した内容でお届けできるようにスタッフ一同がんばります。ご意見、ご要望などお寄せ下さい。お待ちしております。

医療連携広報委員会

表紙：鞆の浦（広島県）撮影：佐藤恭典

ホームページもご覧ください  
<http://www.kosei-hp.or.jp>



### 立正佼成会附属佼成病院

〒164-8617 東京都中野区弥生町5-25-15  
TEL 03(3383)1281(代表)  
Fax 03(3382)8972